

國武豊喜先生，ボルドー大学から名誉博士号

今春も地球の裏側で，附設同窓生のうれしい出合いがありました．去る5月4日，フランス・ボルドー大学で國武豊喜先生（2回生）への名誉博士号授与式が行われることになり，同大学から日本学術振興会ストラスブール研究連絡センターに案内があり，出席してきました．

ボルドーと福岡市は姉妹都市で，ボルドー大学と九州大学との長年の研究交流の中心となられたのが國武先生です．

授与式に招待した学振のセンター長が，國武先生の後輩ということで，いかに世界は小さいか，出席された方々も驚いていらっしゃいました．

式典には國武先生の奥様と一緒に九大の渡辺副理事も臨席され，國武先生が世界で初めて成功した脂質二分子膜形成の研究を始め，これまでの研究を実験のビデオも交えて一般の人にもわかりやすく，講演なさいました．ついで，ガウンに身を包んだボルドー大学学長が國武先生への名誉博士号授与のセレモニーを執り行い，國武先生からはお礼の言葉がありました．温かい拍手で式典を締めくくり，別室で祝賀レセプションが開かれました．

日本化学会賞，高分子学会賞，京都賞，紫綬褒章，文化勲章と数々の賞・叙勲歴をおもちの先生は学問の道を究められただけでなく，理研のベンチャー事業を興され，産業界の指導にもあたっておられます．國武先生は附設の「ジェントルマンであれ」という言葉通りで，謙虚で控えめな大先輩の姿に感銘を受けました．御井校舎に学ばれた國武先生と多くの共通の恩師をもち，御井校舎を知るほぼ最後の学年である私は，あの質素な校舎で教鞭を執られた世良先生，熊懷先生，大石先生の顔をふと思い浮かべました．國武先生のますますのご活躍を祈念しています．

日本学術振興会ストラスブール研究連絡センター長 宮本博幸（18回生）

